

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

# KoKola**b**.

隔月刊ココラボ通信

NO. 107

2024.February

完成現場報告 藤枝市／『Peakの家』

職人仕事でつくられた、  
オンリーワンの木の住まい。



石土間に設置した薪ストーブは HITA NORN(ノルン)。縦長窓で見る炎は迫力と美しさがあり、時を忘れていつまでも眺めてしまう。デザインだけでなく、鉄と石の利点が重なり合い、高性能な一台となっている。



グハウスにも興味があり、趣味のバイクや車も楽しみながら暮らしていける住まいを考えていたと伺いました。雑誌やホームページ、SNSなどで色々と見ていく中で当社の板倉づくりの家に興味を持っていただき、ご家族で展示場を見学していただきました。ログハウスではないけれど、板倉の木の空間を気に入っていただき、また、大工をはじめとする職人仕事も評価していただき、手仕事でつくる質の高い住まいを計画していきたいと家づくりの依頼をいただきました。

元々は横浜に暮らしていたTさんご家族ですが、藤枝市の実家で道路拡張に伴う建て替え計画があり、ご両親に代わり家づくりをされたと伺いました。その時はまだ実家に戻るわけではなかったけど、高齢になるご両親の事が心配になり、その後に思い切って実家への引っ越しを決断されました。ご実家の建て替え計画は横浜に居ながらFAX等で行ったので、十分な打ち合わせが出来なかった事や、工務店との行き違いもあり、いつかもう一度家づくりをしたいと考えていたと伺いました。その後子供たちも成長し新しい生活を始めた事や、奥さんのご両親との同居計画もあり、今回思い切って家づくりを決断されました。新しい住まいはTさんご夫婦と奥さんのお母さんとの3人暮らしを基本とし、実家とひと続きの土地に住まいを計画しました。

# 職人仕事でつくられた、 オンリーワンの木の住まい。

完成現場報告

藤枝市『Peakの家』

文・写真/コロラボ 山崎健治

石土間にソファや本棚を合わせ、家族みんなの時間を楽しめる広間を提案した。石土間は床より一段下げ、外部と内部の繋がりが大切にしている。



今回の完成現場報告は、昨年の春に完成したTさんにお願ひしました。引っ越しをしてまだ半年弱とお願ひするのはまだ早いかな?とも思いましたが、お伺ひしてみると、絵画や写真、雑貨などが綺麗に飾られ、とても豊かな室内空間になっており、Tさんのセンスの良さを改めて感じました。設計の打ち合わせをしている中でも家具や照明の勉強をされ、家具屋さんを回ったりしながら半年ほど前から準備をされてきました。私も家具や照明の相談をいただく中でその都度ワクワクし、完成をとっても楽しみにしていました。

Tさんとの家づくりは当社の展示場に見学に来られたのがスタートでしたが、Tさんは家づくりの経験があった事や、自分たちのライフスタイルや希望が明確だった事もあり、打ち合わせは順調に進んでいきました。Tさんが特にこだわったのは、薪ストーブのある暮らしと木の空間。元々は口



南から見る外観。準防火地域内に建つ住まいだが、防火的な設計を取り入れ、軒裏や玄関建具などに木を現した外観となっている。



豆砂利の洗い出しで土間を仕上げた玄関。正面の簾網建具の先に広い玄関収納を設けることで玄関がスッキリと綺麗に使える。一枚板の式台やベンチもマッチしている。



床を諏訪鉄平石の乱張りで仕上げた吹き抜けのある広間。職人が一枚一枚の色や形を合わせながら丁寧に仕上げている。目地の幅を揃えたり、縁起の良い張り方など、職人のこだわりが詰まった床に仕上がった。

## 新築に合わせて 土地問題も解決

今回の計画地は元々駐車場として利用していた土地ですが、詳しく調べてみると敷地の一部に官地(市が所有している土地)があり、そのまま計画とはいきませんでした。官地を避けて計画すると建物の大きさが制約されたり、駐車場の確保出来なかつたりと問題があるので、専門の家屋調査士にお願いして官地の払い下げ申請を行う事になりました。官地の面積は大きくないのですが、周辺の所有者との立会いや合意、また申請手続きが複雑だつたりと、住まいを建築出来るまでに予想以上の時間が掛かってしまいました。また、今回の敷地は準防火地域と呼ばれる地域になり、外壁や屋根・窓は、外部からの延焼を防ぐ素材や構造が法律で定められています。外壁の仕様や、隣地からの距離によって網入りガラスなどの使用が決められていますが、板倉の家は木の壁でつくる防火構造の大臣認定を取得しているのです、そのまま通常の仕様でつくることが出来ます。窓に関しては難しい面もあるのですが、玄関には袖壁を作つて隣地からの延焼を防いだり、ブラシングによって主な開口部の位置を延焼ラインから避けて配置したりと、様々な手法を使って木の住まいを提案していきました。

## 憧れの木の住まい 職人仕事で豊かな空間に

土地の許可が出るまでの時間があつた事もあり、Tさんとは様々な打ち合わせを行いました。プラン計画から始まり、素材や設備の打ち合わせ、家具や建具なども一つ一つ図面を作成して打ち合わせを行い、より詳細な計画をしていきました。色々とこだわりながら進めていきましたが、今回のポイントのひとつが石土間の広間です。Tさんの要望や暮らしのイメージを聞いてみると、趣味の車やバイクなどがある外部とのつながりをつくりたいと思われました。気軽に外部と内部を行き来、友人などがふらっと立ち寄れるような空間を提案したいと思われました。また、Tさんは薪ストーブにも興味があつたので、土間スペースのシンボルとなるように配置し、どこからも見て楽しめるように設置しました。土間に貼つた石は諏訪鉄平石の乱張りとなりました。乱張りは張り方ひとつで全く違った印象になります。目地の幅を揃えたり、一枚一枚の色や形のバランス、縁起の良い張り方など、石屋の知識と技術でとても気持ちの良い石土間が出来上がりました。施工途中ではTさんにも職人の仕事を見ていただき、丁寧で安心して任せておけると喜んでいただきました。





屋根裏空間をイメージさせる寝室。屋根の勾配を室内にも現し、屋根裏空間を室内に取り込んだ寝室となった。扉の先には小屋裏を利用したクローゼットを設けている。

吹き抜けを寝室の窓から見る。広間と階段、スタディーコーナーの配置がよくわかる。木の壁に包まれた室内だが、開放感のある空間で圧迫感を感じない。



2階のホール。元々実家で使用していたソファの生地を張り替えて、木の家の雰囲気に合わせてくれた。大きなソファで、息子さん came 時はベッドとしても利用しているとか。



スタディーコーナーから3段登ると2階のホールとなっている。ちょっとした変化が空間を分けている。



スタディーコーナーは主に奥さんの趣味のスペースとして利用されている。本や小物、版画など、自分の好きが集まったスペース。

## スキップフロアで繋がるワンルーム空間

石土間の広間は大きな吹き抜け空間となり、中2階のスタディーコーナーや、2階のホールと繋がっています。スタディーコーナーは主に奥さんのスペースになっており、読書や趣味の手芸を楽しむ場所になっています。綺麗に飾られた小物が可愛らしく、季節やその時々で暮らしを楽しんでいただいていると感じました。中2階から3段上がった2階のホールには、実家で使用していた大きなソファが設置されています。新しい住まいに合わせて色調が合うように生地を張り替えたり、目を楽しませてくれる版画も飾られていました。息さんが来られた時はゴロツとする事も出来、ちょっとしたベッドとしても利用しているようですが、どちらも広間とワンルームで繋がっていますが、階段を通して高さの変化があり、個々のスペースとしても使える場所になっています。ワンルーム空間は広間と一体となった広い空間ですが、新ストーブの暖かさもしっかりと伝わり、心地よく快適な空間になっていると感じました。吹き抜けは寒いのでしょうかと心配される方も多いですが、家の断熱性を高めた家は上下の温度差が少なく、1階でも寒さを感じることはありません。Tさんの住まいのように新ストーブがあれば、さらに暖かく過ごせますが、エアコンを使用した暖房でも心地よく過ごすことが出来ます。吹き抜けは開放感を感じるだけでなく、2階に居ても家族の気配が感じられ点も良いと思います。家族がそれぞれの場所でそれぞれの時間を楽しむ。自分の部屋に籠るのではなく、付かず離れずの関係が心地よく感じられると思います。ワンルーム空間ではないですが、2階のホールの隣にはご夫婦の寝室を設けました。天井高を低く抑えた屋根裏部屋のような雰囲気の中で、寝室の奥には小屋裏スペースを利用したクローゼットも確保しました。平面的な配置や立体的な空間を考えて提案する事は、設計者としてとても楽しくやりがいを感じる仕事です。企画プランのようにコストを最優先した合理的なプランもありますが、出来る限り自由な発想で、住まいの暮らしやすいプラン、光や風を感じ、心地よいと感じていただける住まいを提案したいと考えています。



今回の打ち合わせの中で一番白熱したのが、お母さんの部屋と仏壇置場についてでした。家族みんな先祖を大切にしており、毎日仏壇にお供え物をあげたり拝んだりするのが日課。実家ではお母さんの部屋に仏壇があり、毎日家族が部屋に入ってくるのが少し気になっていたようです。仏壇が近くにあるのはいいのですが、部屋に入らず良い場所をつくれませんか？とみんなで考えました。お母さんの部屋とは別に仏間をつくれれば問題は解決するのですが、面積が大きくなり敷地の問題やコストが…。最終的には、お母さんの部屋と仏壇置場の間に引き込み障子を設け、普段は障子を閉めて使い、法事などの広く使いたい時は障子を壁に中に引き込んで仏間として使う案になりました。家が完成してお母さんにどうですか？と尋ねると、いい感じですよと返事。みんなで考えた甲斐がありました。

### みんなで考えた お母さんの部屋と 仏壇置場



障子を閉めるとお母さんの部屋に入らず毎日のおつとめができる。ご先祖様を大切にしているTさんご家族のアイデア。



引き戸を開けると、障子がお母さんの部屋の目隠しになっている。欄間はOPENになっており、天井は一体となっている。



お母さんの部屋と仏壇置場。3枚の障子で仕切られ、法事などの時は壁に引き込んで広く使う事を想定している。

### 木を主役とした 様々な空間とデザイン

コロボの家づくりは、地域の木材をふんだんに使った住まいが特徴です。構造材はもちろん、床・壁・天井、家具や収納棚、浴室も木を使ってつくられています。木の適材適所を考え、様々な場所で利用しています。



Tさんがクラフトコンサートさんで購入したルイスボールセンのクッションランプ。デザインの段階からこの場所に置く決めていた。



2階のホールに設けた本棚。本棚はいくらあってもすぐに一杯になってしまう。2階の床は山桜。赤身があり、とても綺麗な床板。



縦長の薪ストーブはHITA NORN(ノルン)。オープンスペースもありクッキングストーブとしても活躍している。



コロボオリジナルの二の字型キッチン。床はダイニングと同じ栗材を張り、タモの木を使ってキッチンがつけられている。



ハーフユニットバスと青森ヒバで仕上げた浴室。天井には浴室換気乾燥暖房機を設置し、暖房や換気、他、浴室の維持にも一役買っている。



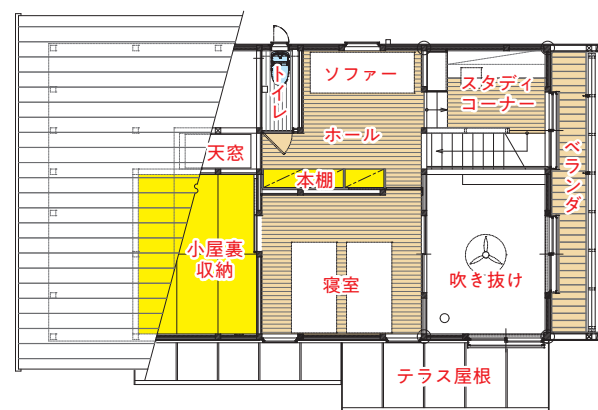
杉板の壁と青森ヒバの床で仕上げた脱衣室。木は調湿作用が高く、水廻りに適している。清潔感もありコロボの定番となっている。



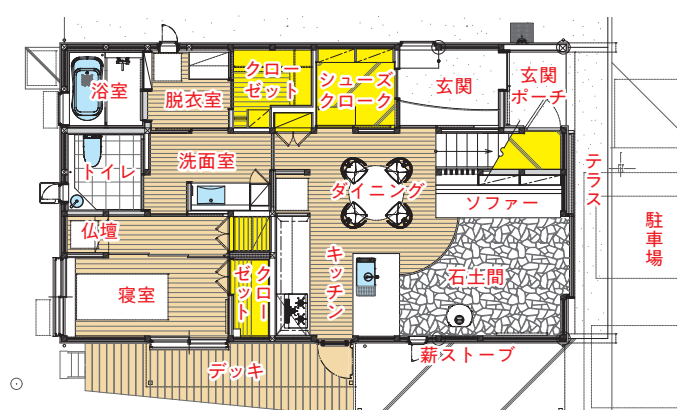
大きな鏡とたっぷりとした収納のある洗面化粧台。窓の取れない部屋に配置したので、天窓をつけて上から明かりを入れている。



1階のトイレはお母さんの部屋の近くに配置。老後の車椅子も想定して、少し広めにつくった。



2F敷地平面図



1F敷地平面図

#### 仕様内容

家族構成	家族3人
屋根	ガルバリウム鋼板 堅ハゼ 嵌合式
外壁	ガルバリウム鋼板 角波 タテ貼 ・マサ土 挿き落し 仕上げ
外部建具	アルミサッシ(防火窓)・木製オリジナル建具
天井仕上	杉本実張り 厚12mm 青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm
内部仕上	壁 杉落し 込込み板現し・漆喰塗り・クロス貼 床 栗本実板・青森ヒバ本実板 ・山桜本実板 全て15mm
内部建具	木製オリジナル建具
キッチン	ステンレスヘアライン天板 オリジナルキッチン
洗面化粧台	オリジナル洗面化粧台
浴室	ハーフバス+青森ヒバ本実板
竣工	令和5年4月

**住まいに求めるもの**

今回Tさんの家づくりをご紹介しますが、本当に住まいには様々なカタチがあり、敷地条件や家族構成、価値観や育った環境などで変わってくると思います。現代は様々な情報が発信されており、その時々々の流行や考え方も変わってきます。今回Tさんが大切にしてくれた、丁寧な職人仕事や本物の素材の選択。住まいに求めるものは人それぞれ違うと思いますが、長く一生大切に暮らしていける住まいは、流行りの素材やデザインではなく、自分たちの価値観にあったもの、そして確かな素材でしっかりとつくられたものだと思います。私たちも日々勉強。職人たちと共に良い家づくりを行えるようにこれからも成長していきたいと思えます。



# 私の好きな 愛い道具たち

vol.12



竹中さんの愛犬たち  
vol.12

## うつわ暮らしの道具テクラ



店主 宮入由起  
静岡市葵区で仕事の商品をみなさまにお届けするお店を営んでいます。主人と2人の女の4人暮らし。夢は旅をしたから絵を学ぶ。旅日記を出版すること。仕事も喜びを染み込ませたい。

みなさん、こんにちは！今回は「パード・ゲール」のフランス産の「ガラスの器」の魅力を伝えるために、鳥取在住のガラス作家さん ukiryoash 竹中悠志さんの作品の紹介と制作の様子をご紹介します。糸田川、木草、草花、が美しく、空気のよさをガラスの器で表現しています。

### How to make the objects!!

① 石膏づくり  
10の作品に10の石膏の型を毎日作ります。シリコン型に石膏を塗り固めます。

② 石膏の仕上げ  
固めた石膏の型を仕上げます。

③ 1色ずつガラスの器を作ります。

④ 色ガラスの上に透明のガラスの器を重ねていきます。

⑤ 糸田川、木草、草花の糸田川道具を石膏に塗ります。

⑥ 窯から出した作品の石膏を外しガラスの研磨と仕上げを行います。

⑦ 窯から出した作品の石膏を外しガラスの研磨と仕上げを行います。

⑧ 窯から出した作品の石膏を外しガラスの研磨と仕上げを行います。

⑨ 窯から出した作品の石膏を外しガラスの研磨と仕上げを行います。

⑩ 窯から出した作品の石膏を外しガラスの研磨と仕上げを行います。

⑪ 窯から出した作品の石膏を外しガラスの研磨と仕上げを行います。

テクラでは2024年7月に竹中悠志さんの個展を開催予定です。美しい、お菓子のような、竹中さんの作品、是非、実物をご覧頂けたいと思います。

私休ケキ皿、2L型皿、肩掛(デザートカッパ)など愛用しています。お気に入りの器を思い出し、お気に入りの器で。

うつわ暮らしの道具テクラ  
Instagram @tekura\_miyairi @tekura2013yk(私) @miyairiyuki(イラスト)

静岡市葵区大岩1丁目1-25  
054-246-2856  
OPEN: 13時~17時  
CLOSE: 火・水 其他有

# ゴードンコーヒー



お家のコーヒーを誰でも手軽に楽しんでいただくために「ゴードンコーヒー」では「素材選び」と「焙煎」に注力し、雑味や不快な苦味のない円やかな味わいのコーヒーは沸かしたての熱湯を使用しても、ドリッパーのお湯が落ちきっても問題ありません。面倒なコツが必要ないので、コーヒーメーカーでもお楽しみいただけます。それぞれのライフスタイルに寄り添う、さり気なく上質でアットホームなコーヒーをお届けできたらと願います。

[住 所] 静岡市駿河区小黒1-10-37  
[TEL] 054-270-7792  
[OPEN] 10:00~19:00(土日祝~17:00)  
[定休日] 水・木曜定休

[URL] <https://godoncoffee.com/>



# エピソード 芒種



藤枝市にあります小さな小さなワイン屋です。生産者渾身の日本ワイン、自然派ワイン、食材を販売しております。生産者の想いが一杯の食材は、人生の機微を感じます。店名は、二十四節気で現在の6月頃、芒(米や麦)の種まきの季節。エピソードはフランス語で食材店。食卓に種まきのお手伝いできましたら幸いです。また、芒種オリジナルのグラノーラもお客様に愛されております。一度ご賞味ください。

[住 所] 藤枝市駅前3丁目18-1渋谷ビルB  
[TEL] 080-3532-3881  
[OPEN] 11:00~19:00 (詳しくはInstagramをご確認下さい)  
[定休日] 月・火曜日

[SNS] Instagram: @epicerie\_bousyu



「コラボ設置店」より...



「KoKolab」Facebookページ  
QR code

Instagram @kokolab.ie  
QR code



発行人 有限会社こころ木造建築研究所  
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1370-4

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集… Branch 村上幸枝

印刷所… 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や  
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、  
E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は送料費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の造り  
を行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通  
信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住  
宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

1月下旬に鹿児島県主催のセミナーに講師として呼ん  
でいただき、ココラボの家づくりを発表させていただきました。  
鹿児島は昨年3度目の訪問で、いつ見ても桜島の雄大な姿に心が躍ります。富士山とは又  
違った魅力があり、美味しい食べ物やお酒と共にすっ  
かり虜になってしまいました。所変われば木の家の違い、  
当社の行っている木をふんだんに現したつくりや、  
板倉構法も珍しいと言われましたが、一番参考になっ  
たのはココラボ通信を発行している事だと言われまし  
た。継続している事が素晴らしい！一步一步進んで  
いくのが大切だねとお褒めの言葉を戴きました。創刊  
号から始まり今回で107号、100号記念誌もすでに昔  
の記憶です。編集作業は大変ですが、私の体力が続く  
限り頑張っていきたいと思えます。(山崎健治)



## 🏠 島田市『ベリーの家』完成現場見学会を行います。

Mさんのお宅は平屋での計画となりましたが、子供室を1M程高くして空間に変化をつけた間取りが特徴です。毎日の生活は様々な変化がありますが、その時々気分に応じて居場所が変えられる空間を提案しました。その他にも開放感のある大きな広間や小上がりの畳コーナー、サンルームや家事動線など見所満載です。早春の心地よい季節の開催です。是非ご家族でお越しください。

◆ 日時：2024年3月末(土・日) 10:00～17:00(予約制)

※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所：島田市

## 🏠 掛川市『きらくの家』完成現場見学会を行います。

Sさんとの家づくりは、色々な土地と一緒に見て回ったところからスタートしました。候補のエリアも色々で、仕事やご実家との距離、子育て環境など、考えれば考えるほど悩んだ土地探しだったと思います。最終的には広く開放的な土地を購入する事が出来、L型の伸びやかな住まいをつくる事が出来ました。ご主人の趣味室や景色の広がる広間など、楽しくも心地よい住まいが出来上がったと思います。今後の家づくりの参考にさせていただけたら幸いです。

◆ 日時：2024年3月末(土・日) 10:00～17:00(予約制)

※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所：掛川市

※見学会の詳細情報はココラボホームページ [http://www.kokolab.jp] でお知らせします。

※コロナウィルスの影響により、開催の変更がある場合があります。ホームページにてご案内いたします。

## 木の家相談会 & 『こころばの家』オープン日

毎月 第1土・日開催

当社では、毎月第1土曜・日曜に、「木の家相談会」と「木の家常設展示場見学会」を行っています。現場見学会などで実際の建物を見ることは出来ませんが、生活をイメージしたり、ゆっくりと座って話を聞くことはなかなか難しいものです。家づくりが具体的で無い方も、またリフォームを検討している方も、まずは一歩踏み出して、実際の木の家に触れたり話を聞いてみてはいかがでしょうか？きっと今後につながるヒントが見つかると思います。

### ◆ 木の家相談会

家づくりは何から始めたらいいの？と相談される方が多くいますが、家族構成や敷地条件などによって様々な入り口があります。また私たちが行っている木の家は、木材をはじめとした自然素材の使い方によっても建物の性能や雰囲気が変わっていきます。木の家相談会では、経験豊富な建築士が個別相談を行い、一人一人に合った、様々な問題について相談を受け付けています。家づくりは一歩踏み出すことから始まります。この相談会を利用して気軽に何でもお訪ね下さい。

### ◆ 木の家常設展示場オープン日

『こころばの家』見学

2つの『こころばの家』は、同じ木の家ではありますが、それぞれ違ったテーマでつくられています。敷地環境や家族構成、空間のつくり方や素材の選択など、自分たちに合った暮らしを探す中で参考になればと思います。毎月第1土曜、日曜をオープン日とし、展示場を見学していただく事が出来ます。ホームページ内の申し込みフォーム、またはお電話でご予約下さい。

◆ 日時：3月9・10日(土・日)

4月6・7日(土・日)

10:00～17:00(予約制)

◆ 場所：『こころばの家@静岡』

静岡県駿河区新川2丁目5-29 電話：054-270-7658

『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4 電話：0547-54-4556



こころばの家@静岡



こころばの家@島田